

待ちの不満を解決する受付管理アプリ『Air ウェイト』、 WEB 問診システム「Symview」と本日2月27日（月）より連携 来院前や待ち時間でWEB 問診が可能に。医療機関と患者の時間と労力を効率化

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する、待ちの不満を解決する受付管理アプリ『Air ウェイト』は、本日2月27日（月）より株式会社レイヤード（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：毛塚 牧人、以下レイヤード）が提供する WEB 問診システム「Symview」と連携いたしましたので、ご報告いたします。



『Air ウェイト』と「Symview」の連携イメージ（※オンライン順番受付を利用する医療機関の場合）

1. 取り組みの概要

『Air ウェイト』は、導入されている医療機関に来院した患者は、備え付けのタブレットなどで受付完了後、自身のスマートフォンや院内ディスプレイで呼び出し通知を待ちます。手元で待ち時間を把握できるため、院外でも時間を有効活用できます。

『Air ウェイト』待ち状況確認画面からWEB 問診が可能に

今回、「Symview」と連携することで、その待ち時間に場所を選ばずに問診を済ませられるようになります。『Air ウェイト』の待ち状況を確認する画面から、そのままWEB 問診に進めます。なお、『Air ウェイト』のオンライン順番受付を利用する医療機関であれば、患者は来院する前に順番受付とWEB 問診を完了できます。メリットは、待合室で紙に手書きする時間と手間が省けるだけではありません。「Symview」は外来診療で遭遇する疾患をデータベース化し、症状・疾患ごとの診断推論ロジックも搭載。そのため、「この症状の患者に聞くべき適切な質問」を自動的に判断することができ、患者自身が何をどこまで詳しく書くべきか悩まずに済みます。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

電子カルテ転記や紙台帳管理が不要、医療機関のさらなる業務効率化

『Air ウェイト』による医療機関の業務効率化もさらに進みます。従来の紙の間診票による運用では、患者の記入が不十分な場合、看護師や受付スタッフが改めて質問し、その内容を追記する二度手間が発生していました。「Symview」のWEB問診は、入力内容がそのまま電子カルテに取り込まれるため、紙の間診票を電子カルテに転記する手間や、紙台帳管理の煩雑さも軽減されます。

患者が来院して診察に入るまでの間、順番待ちや問診記入に関する業務がほぼなくなるため、受付スタッフや看護師は、本来すべき医師のサポートや重症患者の対応、会計業務などに注力できるようになります。

2. 取り組みの背景

コロナ禍における医療機関でのオンラインサービスの拡大に伴い、これまでも『Air ウェイト』は医療現場での待ち時間の削減を実現し、患者とスタッフの三密回避にも寄与してきました。また、ORCA（レセコン）やPHC（電子カルテ）などの外部連携を通じて、サービスの提供価値を広げ、医療機関のDXに貢献しております。そこで今回は、受付システムとの親和性が高いWEB問診と連携することで、受付業務と診察に必要な情報収集を同時に効率化させることができると考えました。

政府は2022年10月に「医療DX推進本部」の会合を開き、「全国医療情報プラットフォームの創設」「電子カルテ情報の標準化等」「診療報酬改定DX」を重点項目と策定。医療DXを、国を挙げたアジェンダとして決めました。医療機関と患者にとって双方が着手しやすい受付管理とWEB問診といった『Air ウェイト』と「Symview」の連携から、さらなる変革を支援していきたいと考えております。

3. プロダクト担当者コメント



髙田 慎史（つただ しんじ）

※取材可能

株式会社リクルート プロダクト統括本部

『Air ウェイト』『Air リザーブ』プロダクト担当者

2016年にリクルート入社と同時に、関連会社ブログウォッチャーにアサイン。位置情報データの商品開発、販売などを手掛け、17年技術開発グループの組織長を経験。21年『Air リザーブ』事業企画を手掛け、23年1月より『Air ウェイト』プロダクト担当者も兼務。

レイヤードの「Symview」との連携で成し遂げたいこと

『Air ウェイト』は、生活においてさまざまな場面で見られる「待ち時間」にまつわる不満を解決することを目指しサービスを展開してきました。今では業態問わず、多くの店舗に導入いただいております。医療機関においても活用いただいております。

街中の医院・クリニックは私たちの生活にとって当たり前にあるものですが、新型コロナウイルス感染拡大による「三密回避」に加え、待ち時間削減などの「業務効率化」など新たな課題が生まれております。患者対応だけではなく、受付対応や会計といった複数の業務を抱えている医療機関にとって、この傾向はますます加速すると思われま

今回の提携を通じて、さらに業務の効率化への一助となり医院・クリニックといった医療機関と患者の両者の不安、不満、不便を解決し、医療の現場が少しでも便利に、そしてスムーズに「Symview」と共にしていきたい、それが今回の狙いです。

4. 『Air ウェイト』について

『Air ウェイト』は、待ちの不満を解決する受付管理アプリです。iPad とプリンターがあれば、紙台帳や高価な専用端末を使わずに、スマートな受付管理ができます。2014年11月にサービスの提供を開始し、飲食、小売、サービスからクリニック、調剤薬局などの幅広い業種で導入が広がっています。『Air ウェイト』さえあれば、受付から呼び出しまでカンタンな操作で受付業務を効率化でき、受付データの分析で業務改善も可能、顧客満足度の向上にも貢献します。外部モニター出力や多言語対応も実現できます。オンライン順番受付の活用で、お客さまは来店することなく WEB サイト上で混雑状況を把握でき、カンタンに順番受付が可能。混雑を解消して案内をシステム化することで、店内や待合室でお客さまを待たせることがなくなるため、感染症対策にも役立ちます。導入したお店からは、「受付スタッフ1人分の人件費を削減できた」「前年比大幅客数増で120%売上アップした」「混雑の不満や不安が軽減して顧客満足度が向上した」などの声を頂いています。

『Air ウェイト』も含む Air ビジネスツールズでは、予約・受付管理、会計、決済から人材採用、シフト管理、資金調達や請求書管理まで、事業運営のアナログな業務にかかる、手間、時間、コストを軽減できます。私たちは、事業を営む皆さまの「思い描く事業運営や自分らしいお店づくり」を、これからも支援し続けます。

『Air ウェイト』について <https://airregi.jp/wait/>

5. レイヤーDの「Symview」について

「Symview」は、医学知識が豊富な医師や看護師にしかできなかった高度な予備問診を簡易に実現する、クラウド型 WEB 問診システムです。患者自身のスマートフォンで入力できるため、事前トリアージによる感染対策、および、電子カルテ等との連携による業務効率化を実現します。

- 疾患データベース／診断推論ロジック搭載。患者の症状に合わせて聞くべき質問が自動的に遷移
- 電子カルテや予約システム等と連携し、外来診療における膨大な事務作業を効率化
- 事前トリアージ機能により、重症化リスク・感染リスクに適切な対応が可能

<https://layered.inc/symview>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>